

問 災害に強いまちづくりを

答 安全・安心なまちを構築する

松井 甫 議員

問 私たちは、地震の恐さを知っているだけに日頃からどのような生活をし、瞬時にどのような判断と、どのような対応をすべきか常に身につけなければなりません。

それでは順次伺います。平時での震災への備えにどう対応すべきか、宍粟市の防災マニュアルは作成されていますか、初期活動はどうあるべきか、緊急時の対応とは、防災意識の高揚に関する対策について問う。

市長

先ず平時での震災への備えとして、自主防災組織では地震災害を想定した総合防災訓練の実施で避難訓練や初期消火訓練、

問 大型ゴミ処理施設建設の枠組み

答 姫路市と折衝中

岸本 義明 議員

問 2千5百万円の予算で8中学校に外国人指導助手（ALT）5名が配属されているがその効果は、費用対効果を考えもつと高いレベルの会話力を。

教育長

全中学校にALTの配属を検討中。特に話す力を充実させる。

問

全国で多くの教師が「指導力不足」と認定された。一方で団魂世代の教師の退職で、希望者「全入時代」がくると言われている。採用時の資質評価と採用後の研修について。

教育長

県教委が面接するが、資質の見極めに苦慮している。採用後は市が新設

問 国見の森公園の宣伝をせよ

答 県と協議してPRする

伊藤 一郎 議員

問 国見の森公園の内容を見れば、多くの観光がみこまれる。計画線が引いてある上比地からテクノへの道の開通も大切だ。

市長

市としても、ホームページやパンフレットなどで公園のPRしていきます。県とも協力して宣伝に努めたい。また道路についても、重要路線として県に要望していきます。

市道について

市道基準4メートルとなっていて

は、この基準で整備されていない道が多くあります。3メートルの道路幅があれば、なんとか消防

水生生物調査について

指導者が、高齢化しています。小

中学校の理科の先生方、お願いは出来ませんか。

問

車と救急車が行けるといふことです。3メートル幅での整備を認めるべきでは。

土木部長

市道認定については特別な理由があり、検討のうえ市長が認めれば3メートル幅を認めます。

問

指導者が、高齢化しています。小

教育長

今まで水生生物調査会に、お願いして来ましたが、教育研修所にて、自主的なグループを求め支援させていただきます。